

2024年10月27日

「罪の赦し」

マタイによる福音書 18:21-35

早川 真牧師

このたとえを聞いて、一万タラントンを帳消しにしてもらった家来のやり方はあまりにひどいと思うことと思います。しかし私たちが誰かの罪を赦さないということはこういうことだと、聖書は私たちに語っています。

罪とは、的を外すと言う意味があります。私たちが、その人生において神に対して的を外した全ての事柄は、まるで一万タラントンの借金のように想像することすら難しいほどに莫大なものです。

しかし神は、積もりに積もった私たちの借金を憐れに思い、イエス・キリストにこの罪の罰を負わせることによって、私たちの借金を帳消しにしてくださいました。イエス・キリストが十字架にかかれたのは、私たちの罪のためでした。それは、一万タラントンの借金を帳消しにしてもらった家来と同じようなものです。

一万タラントンの借金を赦したということは、主君は多大な損失を被ったということです。神は私たちの罪を赦すために、愛する独り子を十字架にかけるといってこれ以上ない損失を被ってくださいました。

私たちにとって大切なことは互いに赦し合うことです。それしか、共に生きる道はありません。私たちが赦せない思いを手放し、空になった手で神の赦しを受け取ることができるように、神はイエス・キリストを十字架につけてくださいました。最愛の独り子の命をも惜しまずに手放してくださった神の愛に生かされ、口先だけでなく、心から隣人の過ちを赦し合う私たちへと導かれてまいりたいと思います。